

WEEKLY

例会場
ロワジールホテル豊橋 TEL.0532-48-3131
事務局 豊橋市藤沢町141
ロワジールホテル豊橋本館9階 926号室
TEL.0532-35-9973 FAX.0532-39-3743
http://www.toyohashi-golden-rc.gr.jp
email golden@toyohashi-golden-rc.gr.jp

RIメッセージ

地区方針

クラブ方針

フランチエスコ・アレッツォ会長

鈴木康仁ガバナー

神谷馨会長

UNITE FOR GOOD

ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう!

新たな時代へ 理想の未来への挑戦
環境変化に対応し、より魅力的なロータリークラブへ

第32回(通算1736回)例会報告	令和8年3月6日(金)	広報担当例会
出席報告	総会員数60名(計算会員数51名) 欠席12名 出席率76.47% 前々回修正出席率90.38%	
歌/会場	国歌・奉仕の理想	会場:ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

会長の時間



神谷 馨会長

皆さまこんにちは。本日は広報委員会担当例会です。先週の例会でご案内がありました生成AIの活用により情報の手段も大きく変化し多様化しています。広報の役割はクラブの活動を外に伝える窓で

あり、同時に未来へのアプローチでもあります。私たちは毎年国際奉仕、社会奉仕など様々な活動を行っておりますが、地域社会の方々に充分にご理解していただけているとはいえません。

これまでのRCのクラブプロジェクトおよび活動の広報としての考え方は、ロータリーの意図と業績を明らかに示すような、成功を収めた奉仕プロジェクトや活動を広報するよう努めるものと期待されています。過去の経験から、以下のようなロータリーの話が広報において最も効果的であることが示されています。

1. 卓越したボランティア
2. 先進国と開発途上国の人々の交流
3. 地元地域で実施されているロータリーもしくはロータリー財団プロジェクト
4. 青少年交換学生、財団奨学生、あるいはロータリーの交換プログラムの参加者
5. ロータリーの奉仕から恩恵を受けている人々に関する人道的な話題
6. ポリオプラス活動—特にポリオ感染地域に関する活動

今日ではSNS、ホームページ他、発信の手段も変化し多様化しています。だからこそ活動報告ではなくどんな未来を目指しているのかというストーリーを伝えることが大切になっています。

広報とは共感を生み、信頼を築き、仲間を増やす活動です。会員拡大の観点からも広報の役割は大きなものがあります。また近年のロータリーにはラーニングという考え方が導入されています。各会員がクラブ広報について様々な活動を知っていただく事と同時に必要なSNS発信の理解やMyRotaryの活用も必要なツールになってまいりました。そのような観点から本日はMyRotary登録についても大切な勉強の機会となると思います。本日の例会が広報の大切さを改めて確認する例会となれば

と思います。

日頃より広報を心掛けていただいている会員の皆さまには心より感謝申し上げます。井上委員長、牧副委員長を始め委員会の皆さま本日はよろしくお願ひいたします。

ご清聴ありがとうございました。

誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!



神谷 馨会員 宇藤 信会員 杉浦宏始会員 廣中雅章会員 札木聖巳会員

入会記念日祝い

加藤ゆり子会員



ロータリーの友読みどころ

尾崎雅輝雑誌委員長



神谷会長の誕生日の3月3日にちなんで、東海道33次目の二川宿から来ました尾崎です。よろしくお願いいたします。

では早速、横組みP3からいきましょう。今月は「水・衛生月間」ということで、RI会長が水をテーマにした話をされています。パナマの先住民コミュニティの事例です。そこでは未処理の川の水に頼って生活しており、深刻な健康リスクにさらされていました。そこでロータリアンが入り、太陽光発電による水処理システムを導入しました。その結果、子どもたちは病気にならず学校に行けるようになり、大人たちも水を運ぶ労働から解放されたそうです。この事例を通して、皆さんも改めて水と衛生について考えてみてください、と

のメッセージでした。

続いて横組み P11 の次の見開きページに、ババロラさんという方が掲載されています。次年度のロータリー会長、現会長エレクトの方です。P14を見ると、出身はナイジェリアで、仕事は石油・ガス業界で25年間のキャリアがあります。ロータリーとの出会いは大学2年生の時、「ローターアクトクラブを立ち上げないか」とロータリアンから声をかけられたことがきっかけでした。なぜゲームチェンジャーと呼ばれるのかということ、横組み P15 の左側に書かれています。ガバナーに就任したとき、最初の例会で、いろいろな提案に対して「何がゲームチェンジなのか」ということを常に問い続けたそうです。従来と何が違うのかが明確でない場合は、提案を差し戻したとのこと。そのように仲間と議論を重ねる中で、ゲームチェンジを起こしてきたと書かれています。P15 右下には、アフリカ出身で2人目のRI会長として、「恐るべきことは失敗ではなく、挑戦しないことです」と書かれています。

続いて横組み P34 をご覧ください。名古屋芸術大学ローターアクトクラブが紹介されています。陶芸例会や野外撮影会など、創造性あふれる独自の例会を開催しています。また、イベントを通して集めた寄付をポリオ根絶活動のために寄付しているそうです。私自身、ローターアクトは高校生のイメージがあったのですが、大学にも多くあるのだなと思い、紹介させていただきました。

続いて横組み P38 です。「エバンストンより」という記事です。ここでもババロラさんが登場します。社会にどのようなインパクトを与えるか、そしてそのインパクトを生むために自分がどう変わるべきか、という内容です。

右下には、「自分のベストを超えること。そして自分が変わればクラブと地区が変わり、地域社会が変わる。その先に持続可能なインパクトが生まれる」というメッセージが書かれています。私自身も、この言葉をよく考えていきたいと思いました。

最後に縦組みの方を1つだけ紹介させていただきます。P2 スピーチで「南海トラフ巨大地震を乗り越える」という記事です。臨時情報や新しい被害想定、備えのヒントなどが書かれています。その中で水について触られています。私たちは普段、1人1日あたり約290リットルの生活用水を使っています。しかし災害時にはこれが使えなくなります。例えば、食器にラップを敷いて使い、そのまま丸めて捨てるなど、水を使わずに済む工夫を事前に調べたり考えたりしておいてください、という内容でした。豊橋も宇連ダムが渇水の状況です。災害はいつ起きるかわからない状態ですので、こうした小さな工夫も、皆さんの頭に留めておいていただければ幸いです。以上です、ありがとうございました。

人生の岐路『あの時違う人生を歩んでいたら…』



鬼頭秀幸会員

こんにちは、先日加藤プログラム委員長から電話があり、スピーチの依頼がありまして、私にとって、ロータリーに関する頼まれごとは、はいとしか答える選択しかありま

せんので、すぐさま引き受けました。そして私の人生を振り返り、ざっと私の人生の岐路と思われる年齢を携帯電話のメモに書いてみました。4歳、9歳、16歳、18歳、24歳、25歳、27歳、34歳、45歳、50歳、56歳と11回も思いつきました。

全て説明しようと思すと、かなりの時間がかかると思いますので、絞り込んで話していきたいと思います。知っている人も多いかもしれませんが、私は名古屋市の北区で生まれ、4歳の時に親戚の住む豊橋市へ養子として迎えられ、苗字も臼井から鬼頭へと変わりました。これが私にとっての何事にも代え難い人生の岐路かもしれません。豊橋に来てからは、生活も180度変わりました。また、父と母の厳しさや優しさもなかなかのもので、特に父親の私に対する教育は、今なら虐待とも言われそうなくらいだと思います。ここで具体的な内容を説明することはしませんが、今となっては、感謝しかありません。あのまま名古屋で生活をしていたら、とんでもない大人に成長したと思います。しかしながら、この件については私の判断では何ともならない他力の部分でありまして、改めて私は運が良いかもしれないなあと時々考えています。

次に、18歳の高校を卒業して進路を決めるときの話になりますが、高校は進学校だったので、100パーセント近くの人が大学へ進みます。私も高校3年の9月までは、進学するつもりでした。ところが私は志望校へ入るためには勉強をさぼっていたおかげで、かなり厳しい状況でした。そこで両親にもし、志望校へ行けなかったら浪人してもいいか、また遠方の行きたい大学をうけていいかと聞いてみたところ、両方とも駄目だとの答えでした。流石に私も困りました。あれこれと考えるうちに、そもそも大学は何のために行くのだろうか？友人に聞いかけたりすると、将来仕事につくための勉強とか、遊べるだとか、あまり明確な回答ではなかったように思います。自分の場合は、父の会社へ入る事は決めていたので、目的が明確でした。よって、私は大学へ行くことをきっぱりとやめました。この件は、自分で考えた結果なので自力であったと思います。

今思えば、あの決断は私の人生最高の決断であったかもしれないと自負しております。

次は24歳の時です。ばたばたと良かったこと残念だったことが続いた1年でした。先ず良かったことは結婚したことです。普通は結婚した1年は、振り返っても良いことばかりと思うのですが、何とこの年に私は会社をくびになってしまいました。10日間くらいだったと思うのですが、いやいや困り果てました。何が原因だったのか、あまり覚えていなくて情けないのですが、その間に就職先と住む場所を決めました。そしていよいよ引越越する時に、母から相談と言いますか、こんこんと話をされ会社へ戻ることになりました。もともと私が会社を辞めるといったわけでもないので、正直にいますとほっとして、助かりました。しかしながら決めた就職先の社長には、たいへん迷惑をかけてしまったので、すぐに説明しに行きましたが、今でも申し訳なかったと思っています。

次にそれから10年たった34歳の時です。この年も良かったこと残念なことが起きた1年でした。良かったこ

ととしては、私が社長に就任したことです。但し、私の人生に最も影響を与えた父が他界してしまったからなりました。この件につきましては、私の人生の中で後悔とは言いませんが、何か残念でした。父に社長になった姿を見せることができなかつたというか変わってもらえなかつたということは、認められてなかつたのかと感じていました。後に母からは、社長を交代するタイミングをいつも相談されていたと聞いたので、少しは気持ちも晴れました。私も社長になって 26 年目を迎えます。先代の父が 25 年社長を務めたので、その経歴を超えることができたことは誇らしく思います。社長業としての内容は、まだまだ父に追いついてはいませんが、やっぱり父に今の自分の姿を見せたいというのが本音です。まだまだ話すことは、たくさんありますが、持ち時間も少なくなってきました。人生の岐路というと、過去の話ばかりになりますが、もしかしたら、これからの 10 年間というものが、1 番重要になり、岐路の連続になるかもしれません。私は時々、人生 200 年計画なんて訳のわからないことを言っていて楽しんでいますが、そろそろ封印しようかとも思っています。だいたいからしてロータリーの四つのテストから考えても全くあてはまりません。そうなんです。もう少しロータリアンらしく自覚して日々を大切にしていこうと思います。そういえば先日、高井さんが、これからはロータリーバッジを肌身離さずにつけて、自覚を持つのだ。と張り切っていました。やはり、ロータリーは人を成長させるのだなあと改めて感じました。

最後に、こうして自分の人生を振り返って発表の場所を与えてもらったことは、加藤プログラム委員長をはじめ、豊橋ゴールデンロータリーの皆様のおかげです。深く感謝いたします。ご清聴ありがとうございました。

広報担当例会



牧 岳大広報副委員長

皆様、こんにちは。広報委員会副委員長の牧です。本日は広報担当例会ですが、委員長の井上さんがお休みということもあり、副委員長の私が 30 分間担当いたします。井上委員長とは、昨年度から本日までに向けてクラブ広報の在り方について様々な点でディスカッションしてきました。私が見たことのない過去の資料とか教えて頂きながらということもあり、私にとっても再度色々勉強になり、このような機会、ありがたく思っております。発表は私ですので、拙い話となるかと思いますがよろしくお願ひいたします。

スライドをご覧ください。本日は、「豊橋ゴールデン RC 広報の歴史について」と「本年度広報委員会の活動について」、「公共イメージとは」、「SNS 発信について」の 4 つのお話の後、最後に「My ROTARY 登録推進について」の実践を行います。

最初は「豊橋ゴールデン RC の広報の歴史について」です。今まで歴代の広報委員会では、地域の方々に知っていただきたいことがあった時に、理事会決定を踏まえて、報道機関と連絡を取りながら、取材を依頼したり、記事

原稿を提出することで新聞に掲載して頂くという手法で広報活動を行っていました。具体的には、東愛知新聞さんと東日新聞さんになります。新聞社さんを広報のメインに据えるということが、毎日新聞を取っている地域の多くの方々に、その情報が多く目に留まることになるという可能性をもたらしていました。また、各会社での回覧や、公共施設等の待合場所等に置いてある関係で、多くの地域の方々の目に留まるという効果もあります。そして、読み手の地域の方々にニーズのある記事となるかどうか、これが、新聞社さんにとっても我々にとっても重要なことで、もし読み手にとって意味のない記事が掲載されたなら、新聞社さんにとっても我々にとっても読み手にとっても良いことは無いことになってしまいます。そこで、何を誰にお知らせ、お伝えするかという視点が大事になってきます。地域を明るくする行動につながるような、地域の方々の奉仕の心を灯すような可能性が高く存在するような記事が望ましいということとなります。1 年間の方針やクラブで行う奉仕活動の予告や活動報告、この辺が効果が高いものと予測できます。毎例会に対し、毎月の理事会の協議審議の中で確認し決定されていく流れですが、基本的にクラブの顔となり対外的にクラブを代表するのは定款細則にもあるように会長です。最終的に会長幹事の確認を受けた情報が外部に流れるという部分をしっかりと実行してきた歴史でもあると思われれます。


豊橋ゴールデン RC の広報の歴史について

～ 豊橋ゴールデン RC の広報の歴史について ～

- ・ 新聞社等の報道機関に取材依頼
- ・ 新聞社等の報道機関に記事を提供
- ・ 地域の方に知って頂きたいことがあった時に
 - ・ 一年間の方針
 - ・ 奉仕活動（予告宣伝・活動の報告）

年明け前の 12 月の第一例会にて、臨時総会がありました。そこでの細則改定にて、次年度から、広報委員会は公共イメージ向上委員会に変更されることが決定されました。スライドの左側が現細則による広報委員会の役割で、右側が次年度 7 月 1 日からの公共イメージ向上委員会の役割となります。シンプルな文言になったことでできることが増えたと思われれます。クラブ奉仕の諸委員会としての位置付けという点は変更されていないので、クラブ内部への奉仕という部分は残ります。誰が受益者かといったときに、表面上の受益者として地域の方々というのを考えますが、本委員会が広報活動をする中で、会員の皆様一人一人の発信力の向上に寄与するという、内部に向けた奉仕が潜んでいる形となるかと思ひます。「ロータリーの広報は各ロータリアンが身をもって行動することが最大の広報活動」というような言葉を聞いたことがある会員もベテラン会員さんを中心に多くいらっしゃるかと思ひます。時間が少ないので少々端折って次のスライドに移ります。

Rotary 豊橋ゴールデンRCの広報の歴史について

～ 広報委員会から、公共イメージ向上委員会へ ～

現クラブ細則第9条第1節 (g) 広報委員会 この委員会は、広く地域社会に、ロータリーの歴史、理念、目的に関する情報を提供し、公共イメージの向上を図る広報活動の方策を考案し実施するという任務を遂行することを使命とする。	次年度クラブ細則第9条第1節 (f) 公共イメージ向上委員会 この委員会は、ロータリーに関する情報を一般の人々及び地域社会に発信し公共イメージの向上を図ることを使命とする。
---	--

本年度の広報委員会の活動についてです。クラブ計画書の本年度のページ、または、スライドをご覧ください。基本方針の中に、信頼関係、継続という言葉が出てきます。そして、活動計画の中には、正しい情報が発信されることが大事という思いが裏側にあることが読み取れます。本日の担当例会もこの活動計画に則って行われていることとなりますが、過去の決定を積み重ねたものが、正しい知識に基づいて、実践されるということが一つ大事なことであります。ロータリーが最初にできたのは1905年です。グラハムベルとエジソンの電話に関する特許の競争が1876年付近なので、電話というものがある程度普及していたものと思われませんが、アメリカと日本が海底の通信線につながるのは1906年であります。活動計画の最初に紙媒体でやってきた大事にすべきこと、後ろ側にインターネットを用いた手法が記載されるのは歴史の必然であるかなと思うとともに、温故知新と不易流行のはざまの中で、技術的には今ほどではない過去の時点でも大事なことはしっかりと考えられているということが無意識の中に出てくるというはよくあることかなと思ったりもします。次のスライドに進みます。

Rotary 豊橋ゴールデンRC

本年度広報委員会の活動について

<p><基本方針> クラブ方針「新たな時代へ理想の未来への挑戦ー環境変化に対応し、より魅力的なロータリークラブへー」を実現するため、歴代の広報委員長諸氏始め、皆様方のご協力により築かれた報道機関との信頼関係を継承し、地域社会に豊橋ゴールデンロータリークラブの奉仕の理念を語り、伝えることが公共イメージの向上に寄与し、共感者を増す役割を果たすよう喚起します。</p>	<p><活動計画> 1. 広く一般の人々にロータリーの歴史、理念、業績などの情報を、報道機関や、雑誌等を通じ地域の皆様への発信に務めます。 2. ロータリーに対する誤った社会評価には、これを是正する努力を怠りません。 3. MY ROTARYへの登録推進に努めます。 4. 公共イメージ向上のため、インスタグラムやフェイスブック等のSNS発信を担当します。 5. 委員会により卓話例会を実施します。</p>
--	---

次のスライドのタイトルは「公共イメージとは」です。長いロータリーの歴史の中では、比較的新しい概念です。情報技術の進展に伴い、人と人の情報のやり取りに関する障壁が少なくなり、大量の情報を少ないタイムラグで受け渡しできるようになった今、広報も再び精査し再定義する必要があったということかなと推測されます。情報技術の進展の波に振り回されるのではなく、「誰かに何かを伝えるにあたり大事なものは何であるのか？」という点を改めてしっかり考えようということと思えます。スライドに映している事柄ですが、他地区の公共イメージ向上委員会も含め、インターネットを用いて調べたものを列挙した形です。とりあえず、本日のところは列挙いたしました。どのような活動を構築していくかは、次年度、浅井さんが初代の公共イメージ向上委員長をなされるということで、楽しみにしています。その中でも、「正しく伝える」というところ、「各会員一人一人の基礎知識の向上」というところ、ここら辺は変わらない部分でもあると思うので、少々踏み込みます。次のスライ

ドに移ります。

Rotary 豊橋ゴールデンRC

公共イメージとは

- ロータリーの存在意義とは何か
→何をしている団体？
→ロータリーは世の中に役立っている？
- 「見聞きした瞬間に、各自の頭に浮かぶ、独自・独特のイメージ」
- 形のない資産（無形資産・ブランド）
- ロータリーの何を伝えるか。誰に伝えるか。伝えたいことの価値は何か。
- ロータリーに対する地域社会の認知度は？
- クラブから、SNS発信、ホームページ
→素晴らしいことを実行したら、発信しよう！
- 「ロータリーの広報は各ロータリアンが身をもって行動することが最大の広報活動」
- 正しく伝えるということ
- 各会員一人一人の基礎知識の向上も重要 →ラーニングという概念の導入

実は、本日のスライド、作るのに少々苦勞しております。推奨される色とフォントに関してです。RI 推奨のものに極力合わせて作成しました。視覚障害者にも優しいものをと、色使いやフォントの雰囲気から感じられる受け手側のイメージ、こういうことが「受け手を大事にしている団体なのだ」と受け手に思ってもらいために大事なことということで、RI もクイックガイドというものを出版していると思われま。この資料は My ROTARY から登録済み会員であれば誰でもダウンロードできます。「受け手に与える団体が持つ継続的なイメージ」、それがロゴの厳格な定義と使用方法という形に表れていると思われま。

Rotary 豊橋ゴールデンRC

公共イメージとは ～正しく発信しよう～

次に正しく発信するためには、正しく知っていないといけないということがあります。知るべき情報は多いです。多すぎるという思いまであります。反面、「ロータリーは知らないより知っているほうが楽しい」といった先人からの言い伝えのようなものもあります。必要に応じて、気楽な気持ちで、他者のためだけでなく、自分のためにも、自主学习、ラーニングということで、My ROTARYの中に、ラーニングセンターがあるので活用するのも良いと思います。私の場合、地区出向の関係で青少年と直接接する機会が頻繁にありましたので、自分でも不安になって、学習を進めた感じでもありました。なぜかランキングとかもあるのですが、友達と競争するもよし、マイペースを進めるもよしといったところかなと思っています。

Rotary 豊橋ゴールデンRC

公共イメージとは ～ラーニング～

話は変わりますが、我々のクラブの SNS です。このページは Facebook です。左側の QR コードから閲覧できます。「見れないよ」という会員もいらっしゃると思いますが、アカウントを作成すれば見ることはできます。毎例会後の発信、大変だけど頑張っています。

針だなと思います。ホームページのリニューアルに携わったプロジェクト委員会の皆様の数年前のご尽力に感謝いたします。



こちらは Instagram です。インターネットの歴史はまだ長くないので、色々なサービスがそれぞれの特徴を持ちながら各社から提供されています。ユーザー側の流行りもあります。「ベースとなる歴史的な手法に加えて、時代に合わせた手法も併せて行う」といったところが大事なところだと思っています。

それでは、今から、「My ROTARY に登録しよう」ということで、登録の時間にいたします。

<中略>

お時間が余りましたので、少々追加でお話いたします。スライドをご覧ください。先週の例会で生成 AI についてレクチャーいただきましたので、ここまでの発表用原稿を生成 AI に与えて、補足すると良いものは何かと尋ねてみました。生成 AI より「明日からできる広報～会員一人ひとりの小さな行動～」というタイトルで、いくつかの項目の返答を得ました。その項目を当クラブの実情に合わせて、私なりに改良したものをスライドに提示いたしました。5つ列挙いたしましたが、まずは入り口ということで、気楽な気持ちでチャレンジいただけたら幸いです。



Rotary 豊橋ゴールデンロータリークラブ

明日からできる広報～会員一人ひとりの小さな行動～

明日からできる広報～会員一人ひとりの小さな行動～

- ・クラブの奉仕活動、趣味の会の活動の写真を1枚撮って、広報委員会に送る。
- ・クラブのSNS投稿に「いいね！」を押す。
- ・家族や職場、知り合いに会った時にロータリーの話題を1つ共有する。
- ・家族や職場、知り合いの1人にクラブのSNSのページを紹介する。
- ・MyRotaryにログインして、ラーニングセンターで、まずは「1つだけ」学習する。

～ 広報は委員会だけの任務ではなく、会員全員でつくる「クラブの空気」です。～

これは、クラブの HP です。外部の方に向けてという部分と、内部での情報交換の両方に対応している形となっています。中身については昔からの継続という部分が大きくありますが、時代に合わせてより良い表現にブラッシュアップしていくという部分、まさに今年のクラブ方

ご清聴ありがとうございました。

★ニコボックス

- 神谷 馨・高橋哲也：広報担当例会です。井上委員長、牧副委員長よろしくお願ひ。
- 福井 淳：四つのテストを唱和させて頂き。
- 宇藤 信・神谷 馨・杉浦宏始・廣中雅章・
- 木村聖巳：誕生日をお祝い頂き。
- 加藤ゆり子：入会記念日をお祝い頂き。
- 尾崎雅輝：ロータリーの友読みどころを発表させて頂き。
- 鬼頭秀幸：会員スピーチをさせて頂き。
- 牧 岳大：本日の広報担当例会よろしくお願ひ。

- 今川明彦・三浦時子：広報担当例会、牧副委員長よろしくお願ひ。
- 山下 孝：ゴールデンカップ 優勝しました。良い思い出になりました。来週がラストの例会です。ガンバレドラゴンズ！ガンバレ侍 Japan！！
- 神谷 馨：ゴールデンカップ 2位に入賞させて頂き。
- 本多英司：ゴールデンカップ 3位になりました。12月に首を痛めずっと調子悪かったのですが、久々良いゴルフができました。
- 石原聖季：子供の中学卒業式の為ギリギリになり親睦メンバーにご迷惑をお掛けしました。
- 木村聖巳ニコボックス委員

★幹事報告

- ・豊川宝飯 RC より創立 40 周年記念式典祝賀会ご参加のお礼状、「ロータリー希望の風奨学金プロジェクト」全国放送のお知らせが届いております。

★他クラブの例会変更

- 3月23日(月) 豊橋南RC クラブフォーラム
- 3月24日(火) 豊橋北RC クラブフォーラム
- 3月25日(水) 豊橋東RC オープン例会
- 3月26日(木) 田 原RC 親睦家族例会